別紙

令和７年度

日本大学付属高等学校等第四十二回文芸コンクール

応募のための注意事項

日本大学付属高等学校等文芸コンクール運営委員会
日本大学学務部付属学校課

一　応募は、令和７年度実施要項による。**応募規定に反した者は、受賞後でもその資格を取り消す。**

二　作品は、在校中に自分が創作したもので、未発表のものに限る。

三　用紙は、**すべて縦書きＢ４判四百字詰め**の原稿用紙を使用する（※各ジャンルとも、**広げた状態で**提出すること）。

四　ジャンルと作品数、枚数について

①　俳句は、一人三句を連記する。一校での応募数は、各々三十人以内。

②　短歌は、一人三首を連記する。一校での応募数は、各々三十人以内。

③　詩は、一人二編以内。一校での応募数は、二十編以内。

④　小説は、原稿用紙**二十枚程度**。一校での応募数は、五編以内。

⑤　読書感想文は、原稿用紙**三～五枚程度**。一校での応募数は、十編以内。

⑥　原稿用紙の枚数は、多すぎず、少なすぎない程度にすること。

五　作品は小説を除き、すべて自筆原稿であること。（用紙は縦書きＢ４判で、四百字詰めにすること）。

六　筆記用具は、**万年筆かボールペンを用い、色は黒**とする。

七　文字は、正しくていねいに、楷書体で書く。

八　原稿には、**ジャンル名・学校名・学年・氏名**（ふりがな）を明記する。

九　特殊な読み方については読みがなをふること。

十　各ジャンルの注意事項（別添資料「原稿用紙の書き方」を参照すること）

・**俳　句**（**一人三句を連記**）

① 校名は二行目に書くこと。
② 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
③ 句は五行目から書くこと。
④ 句ごとに改行し一句を一行に書くこと。
⑤ 各句の間に空白行をはさむこと。

・**短　歌**（**一人三首を連記**）

① 校名は二行目に書くこと。
② 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
③ 歌は五行目から書くこと。
④ 歌ごとに改行し一首を一行（書けなければ二行）に書くこと。
⑤ 各歌の間に空白行をはさむこと。

・**詩**（一人二編以内）

① ジャンル・校名は一行目に書くこと。
② 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
③ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
④ 本文を五行目から書くこと。
⑤ 二編応募する場合は、一編ごとに用紙を変え、二人分として応募すること。

・小　説（一人一作品）

① 原稿用紙**二十枚程度**とすること。
② **通し番号**をつけ、**広げた状態で、ホチキスで右上をとじる**こと。
③ ジャンル・校名を一行目に書くこと。
④ 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
⑤ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
⑥ 本文は五行目から書くこと。
⑦ 句読点、かぎかっこなどの記号は一字分として扱うこと。
ダッシュ（「――」）**や三点リーダー**（「……」）**は二字分**使用すること。

・読書感想文（一人一作品）

① 原稿用紙**三～五枚程度**とすること。
② **通し番号**をつけ、**広げた状態で、ホチキスで右上をとじる**こと。
③ ジャンル・校名を一行目に書くこと。
④ 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
⑤ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
⑥ 本文は五行目から書くこと。
⑦ 句読点、かぎかっこなどの記号は一字分として扱うこと。
ダッシュ（「――」）**や三点リーダー**（「……」）**は二字分**使用すること。
⑧ 書籍や映画などの作品名は『』（二重かぎ）でくくること。
⑨ 作品を引用する際は原稿用紙の欄外に**引用箇所のページ数**を書き添えること。

担当の先生方へのお願い

一　原稿はすべて**Ｂ４判**に統一し、**広げた状態で、**二枚以上になる場合は**右上をホチキスで**とじて提出してください。

二　原稿に**ジャンル名・学校名・学年・氏名**（ふりがな）が記載してあるか確認してください。
（各ジャンルの注意事項を参照してください）

三　別添「エントリー番号記入について」を参考にして、原稿の**右上にエントリー番号を記入**してください。

四　**コピーを三部作り、**原稿とあわせて**計四部（Ｂ４判）を用意**してください。それぞれ**エントリー番号順に並べた状態で提出**してください。**コピーの濃度は濃いめ**でお願いします。

五　応募作品には、「応募状況」・「応募者一覧表」を添え、一括して送付してください。

六　原稿に**誤字・脱字**などがないように**清書時に確認**してください。

七　**著作権の侵害**に注意してください。特に**盗作等についての確認**は必ず行ってください。
出版物等紙ベースで発表された作品だけでなく**インターネット上に公開されている作品**にも著作権は発生します。

八　小説のパソコン使用時の書式について
◎**Ｂ４判用紙横向き**を使用してください。
◎縦書き**原稿用紙書式**（縦二〇×横二〇）を使用してください。
◎フォントの種類は問いませんがポイント数は**十二ポイント**にしてください。
◎原稿用紙をＡ４サイズで出力してからＢ４判に拡大コピーする場合は、文字が大きくなり過ぎないように注意してください。

九　入賞作品を作品集に掲載する際、俳句・短歌・詩に関しては原則として原稿のまま掲載します。小説・読書感想文に関しては加筆・訂正することがあります。

十　「文芸コンクール作品集」は次のような表記上のルールに従って編集しています。原稿清書時に留意してください。

①　「　」内の、最後の句点（　。）は表記しない。

○誤「ごめんな、透。ごめんな。」

○正「ごめんな、透。ごめんな」

②　「？」、「！」の後は一文字分あける。

○誤「えっ？おどろいた！」

○正「えっ？　おどろいた！」

③　会話文の後の、「～と言った」と表記するような場合は、一段下げないで書き始める。

○誤「そんなことないよ」
と私はやさしく言った。

○正「そんなことないよ」
　と私はやさしく言った。

④　小説・読書感想文に関して、次の場合は表記をひらがなに改めることがあります。

○　接頭・接尾語　（〔例〕人達→人たち　子供→子ども）

○　助動詞　（〔例〕読んだ様だ→読んだようだ　読ま無い→読まない）

○　形式名詞　（〔例〕読む事→読むこと　言った通り→言ったとおり）

○　補助動詞・補助形容詞　（〔例〕読んで見る→読んでみる　夢では無い→夢ではない）

十一　読書感想文の中で引用する本文にも著作権があります。大幅な改変は著作権の侵害になります。転記ミスも改変とされる場合があります。引用箇所は正確に本文を写したものでなければなりません。作品集に掲載する際に確認作業を行っていますが、**正しく引用することの重要性**について生徒への注意を喚起してください。

十二　令和７年度より小説につきましては，原稿データ（パソコン入力したもの）を原稿用紙と併せて御提出いただくようお願いいたします。

以　上